

句読点としてカンマとピリオドを使用する場合に、和文と欧文で異なるフォントが混在することになります。日本語の組版の規則を活かすためには、句読点には 2 byte のものを使うべきです。

しかし、欧文部分の「,」と和文部分のカンマ「,」のデザインが違うのが気になります。欧文部分は Computer Modern の cmr10 なのに、和文部分はリュウミンライト (Ryumin-Light) を使うからです。以下の例の 2 つめでは、「abc」の後に「,」と空白を記述しています。2 つめでは、「abc」の後は和文の「,」です。間延びしてみえるのが気になります。欧文の組版の規則が適用される方がよいのではないかと思います。

1. abc, jkl および xyz を容器に入れて、10 分加熱します。(全部 1 byte)
2. abc, jkl および xyz を容器に入れて、10 分加熱します。(abc の直後のみ 1 byte)
3. abc, jkl および xyz を容器に入れて、10 分加熱します。(全部 2 byte)

括弧類も問題です。日本語の部分では、日本語 (にほんご) のように和文の括弧を使用することで、日本語の組版になります。デザイン的にもグリフの大きさやベースラインの位置が正しくなります。困るのは、やはり欧文と和文が混ざる部分です。

1. 日本語 (Japanese) 日本語, English (英語) Englisch (engelska) Engels
2. 日本語 (Japanese) 日本語, English (英語) Englisch (engelska) Engels
3. 日本語 [Japanese] 日本語, English [英語] Englisch [engelska] Engels
4. 日本語 [Japanese] 日本語, English [英語] Englisch [engelska] Engels